



平成 17 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 IMV株式会社

代表者名 代表取締役会長兼社長 小嶋 成夫

(J A S D A Q ・ コード 7 7 6 0)

問合せ先

役職・氏名 大阪営業所長 秋吉 謙治

電話 0 6 - 6 4 7 8 - 2 5 7 5

新型地震計「地震ウォッチャー SW - 7 2 ・ SW - 7 4 」発売のお知らせ

動電式振動シミュレーションシステムで国内シェアトップのIMV株式会社(本社:大阪市西淀川区、代表取締役会長兼社長:小嶋 成夫)は、従来の地震計を機能向上させ低価格を実現した、サーボ式加速度ピックアップ採用の新型地震計「地震ウォッチャー SW - 7 2 ・ SW - 7 4 」を平成 1 8 年 2 月に発売いたします。発売に先立ち平成 1 7 年 1 1 月 1 5 日 ~ 1 8 日に東京ビックサイトにて開催される「メンテナンス・テクノショー 2 0 0 5 」に出展いたします。

記

製品化の狙い

地震計に用いられる検出器は様々な原理のものがああります。現在、サーボ式加速度ピックアップは最も信頼性の高いものですが、これを利用した地震計は高価になってしまうことが普及の妨げとなっております。一方、落球式等の原理を応用した感震器と呼ばれる地震計は、安価であるため広く普及はしているものの、警報動作が不安定であったり、加速度が表示されない等の問題点を抱えておりました。

近年の防災意識の高まりと社会の安全性に因るため、当社ではサーボ式加速度ピックアップを採用した安価で普及型の「地震ウォッチャー SW - 7 2 」を開発いたしました。これにより、現在は感震器を利用しているが、より信頼性の高い地震計を求めお客様のお買換え需要が期待されます。

また、阪神淡路大震災から 1 0 年が経ち、その当時に導入された地震計の更新需要が見込まれるため、当社の従来品と寸法互換を確保した「地震ウォッチャー SW - 7 4 」を同時に発売します。

当社は地震計の開発を強化し「地震ウォッチャー」ブランドの新製品を随時投入していく予定です。

主な特長

< SW - 7 2 >

- ◆ サーボ式加速度ピックアップを使用した高精度地震スイッチ
- ◆ 高価なサーボ式加速度ピックアップを採用しつつも、低価格を実現
- ◆ 方向無指向性で直下型地震にも対応可能
- ◆ 定価: 3 6 万円
- ◆ 販売予定台数: 2 5 0 台/年

< SW - 7 4 >

- ◆ 当社従来製品 SW - 9 0 E ・ SW - 9 0 K と同寸法で更新工事が容易
- ◆ SW - 7 2 と接続することで機能UP(計測震度準拠・基本設定操作・地震履歴表示)が可能
- ◆ SW - 7 2 の内部モジュールを実装することで、既設ピックアップを接続することが可能
- ◆ バッテリーによる停電補償 1 0 分
- ◆ 定価: 7 0 万円
- ◆ 販売予定台数: 1 5 0 台/年

以上